

## 『人権教育講演会』の振り返り

講師：ちひろさん



### <児童の感想より抜粋>

- わたしは、ちひろさんのうたをきいて、きれいだとおもいました。ステージでささラブソングをうたうとき、いっしょうけんめいうたいました。おきゃくさんが大きなはくしゅをしてくれました。
- ちひろさんの歌を近くで聞くと、とても迫力がありました。講演会のとちゅうで、ぼくたちもいっしょにささラブソングを歌ったので、とてもきんちょうしました。でもなんとか歌えたのでうれしかったです。
- ちひろさんは歌うとき、ずっと笑顔で歌っていて、見ているととても楽しい気持ちになりました。
- 私には「大漁」が一番ひびきました。もともと「大漁」の詩が好きだったし、それにメロディをつけたら、もっと迫力が感じられたからです。人間の立場からではなく、他の生き物や植物の立場から見ての詩を書いているすごいと思いました。色々な立場から見ると、考えが変わっていくんだと思いました。
- 私はみすゞさんの詩は知っていたけど、意味はあまり知らなかったのがよかったです。初めてステージに登って歌ったのできんちょうしたけど、大きな声で歌えました。
- ちひろさんの歌やピアノはとてもじょうずで、「トゥモロー」もとてもきれいな声でした。
- 講演会のお話で、みすゞさんは「大漁」の詩のように、人だけじゃなく魚のことなども考えているすごいなと思いました。ささラブソングを歌うときははずかしかったけど、みんなで作った詩にあった明るい曲で、いいなと思った。「大漁」の他にみすゞさんの詩には、人権という言葉にぴったりの詩がたくさんあることがすごいと思いました。ちひろさんのように上手にきれいな声で歌えるようになりたいと思いました。
- 私は、「私と小鳥と鈴と」の歌が好きでした。最後の「それから私」となっている意味を知れてよかったです。ささラブソングはきんちょうしたけど、ちひろさんといっしょに歌えてうれしかったです。
- ぼくが印象に残った歌は「私と小鳥と鈴と」と「大漁」です。ただ聞くだけでなく、人権について考えながら聞きました。みすゞさんはこの詩に、自分ではできないこともあるけれど、できることが1つでもあるとそれぞれそれでいいという思いを込めたということがわかりました。みすゞさんは、人の心だけでなく、海にいる魚の心を詩にしているすごいなと思いました。自分はうれしいけど、相手はどうなのかと、ぼくも周りを考えられる人間になりたいなと思いました。

### <参加された保護者・地域の方のご感想>

- 生で聴くちひろさんの声がきれいで、心に響くものがあった。
- ちひろさんの歌は説明もあって一層みすゞさんの詩に感動し「メッセージ」では、涙があふれた。
- 詩を通して人権を考えさせてくれた。
- すばらしい歌声に日頃の疲れも吹き飛び、癒された。今後の活動に力をもらった。
- 金子みすゞの詩の世界を改めて感じることができ、学ぶ事が多かった。
- ささラブソングもいい曲で、どんどん広がってくれたらいい。歌い継がれますように。(多数)
- ささラブソング、ワンダフル！みんな元気に歌っていて、100点満点でした！
- こんな時代に人権を考える時を与えてもらえてよかった。
- どうか学校が終わりませんように。
- ちひろさんの素敵な歌声と、みすゞさんの奥深い詩を聴くことができ、感動した。
- これからの佐々並の発展につながるよい講演会だった。とても楽しい時間で、参加してよかった。
- アンコールのアニーは大好きな曲で、思わず涙が出ました。コロナ禍で、つぶやくように歌っている曲です。娘がよく「明るいほうへ」を歌っています。